

目標達成計画

作成日：平成 25 年 11月 25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2 (2)	地域交流の活性を図りたい。	定期的に、地域の方と施設のご利用者様や家族との交流を施設で実施して行きたいと思えます。保育園や地区の老人会とのふれあいを実施したいと思えます。	月行事を通して、地域の方々へのお誘いや、広報や声掛けの実施の仕方を工夫したいと思います。	12ヶ月
2	10 (6)	家族参観後のアンケートについては、全職員で内容について検討を行い、さらに運営に活かされるアンケートに繋げていただきたい。今後は職員はゆとりを持った入居者・家族への対応を心掛けることで、信頼関係も深まるものと思われる。	毎月の家族参観のアンケートの実施をバランスよく実施し、毎月の職員会議で、必ず参加職員と内容や対応について検討して行きたいと思えます。そして、職員皆様が利用者様にゆとりのある対応を心掛けて貰えるような工夫をする。	毎月の家族参観日とアンケートをすべての利用者様とご家族に実施し、毎月職員会議で利用者様や家族ニーズの把握を検討課題とする。また、介護への余裕のない対応はどうして起こるかを職員皆で対応を工夫できるように話す機会を持つ。週に1回	12ヶ月
3	33 (12)	今後、入居者の状況によっては医師を交えた話し合いの機会や、終末期支援の有無に関わらず高齢者に携わる事業所をして、重度化を見据えたホームでの勉強会の開催にも期待したい。	重度化対応について、職員皆で研修会を開けるように努力する。	職員皆で協力し、テキストに載っている事や資料を集めて、年に1度からでも重度化対応の研修を実施できるようにする。	12ヶ月
4	35 (13)	まずは地域に対して総合訓練時の事前の周知や参加の呼びかけにより入居者の避難の見守りなどできる事で協力が得られるような働きかけを期待したい。	施設の年間の火災避難消化通報訓練が2度あるので、そのうちの1回は地域の方々の参加や協力を呼びかけて実施する。	平成26年の施設合同火災避難消化通報訓練を2回実施し、1回は地域の方への協力と呼びかけを行い、見守りや地域での防災連携として活用できすように努力する。	12ヶ月
5	52 (19)	今後も共用空間への季節の花の取り入れや、杖を収納する箱にも職員の一工夫に期待したい。	施設内でのご利用者様に対する環境的な配慮を強化するための強化月間へと取り入れて対応を考える。	平成26年の年間の強化月間としての取り組みで、美化作業の一環として、ご利用者様の生活空間で、花を飾ったり、色彩や飾りなどをする、デコレーションやアレンジ的な装飾を季節に合わせて、少しでも実施できるようにする。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。